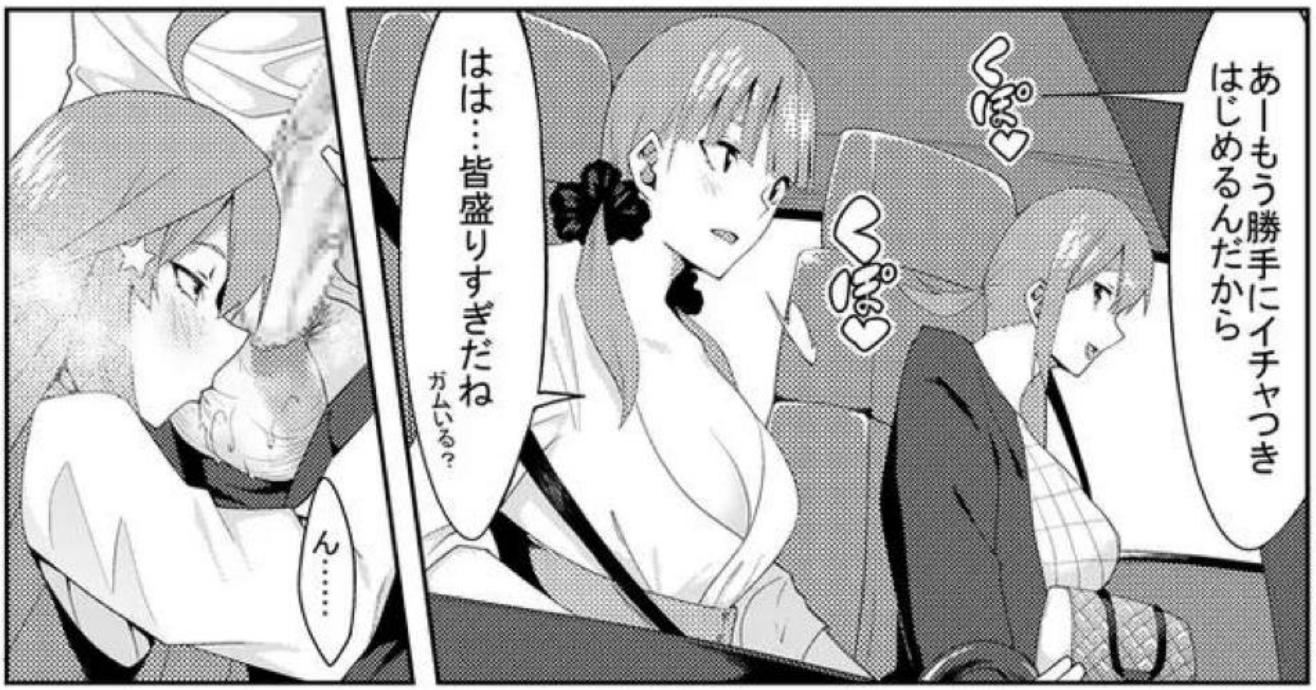



いやー六人全員揃うなんて
いつぶりかなぁ
五月の結婚式以来
ざっと一年半以上
今年のお正月は一花が仕事で
海外だったもんね
っていうかなんで
運転できるのが私一人なのよ
今までは江端さんがいたからね
二乃がいてくれて助かったよ
グゥゥゥ


フー君はどうなの？
バイクの免許持ってたでしょ
二乃まえっ
悪いな…四輪は取ってないんだわ
バイトで使うわけじゃ…おっと
わっ
ごっごめんなさい
上杉…君


あれれぇ
なんでここ
おっきくなってるのかな
ちょっ掴んでくるなっ
フフ…


マーキング済みの女の子五人と一緒の車にいればこうもなるよね
変態♥
んむ…じゅぷ
ん…ふぅ…っ…


あーもう勝手にイチャつき
はじめるんだから
くぽ♡
くぽ♡
はは…皆盛りすぎだね
ガムいる？
ん……


っていうか四葉
あんたはいいの？
わたしは昨日の夜も
風太郎君と愛し合ったし
あんたらほんとお盛んね
むしろヤってない日は
ないんじゃないの
ぢゅぽ♡
ぢゅぽ♡
ぢゅぽ♡
ぢゅぽ♡
ぶぴ♡
んぽ♡
ぶぴ♡
いやぁそれほどでも


五月…もうっ
びぶぶぶぶっ
ふふ…駄ァ目♥
今日はこれから何度も
射精すんだから
んぐぇ～
こんなすぐに濃厚一番搾り
お漏らししたらもたないよ
あと約一時間…
到着するまでは
このまま寸止めだよ
我慢♥我慢♥
二乃…次の休憩所で止まって
フータローの隣交代したい
五月ちゃんオチンポ
独り占めは関心しないなぁ


あんたたち随分勝手
言ってくれるじゃない
それだって私の番は
回ってこないんでしょうが
まあまあ…


フータロー君だって
美人姉妹と同じ車で
期待してたみたいだし
じゃないと不意に抱き疲れただけで
こんなにはなんないよね
凄いカッチカチ♥


ずるいずるい
濃厚で芳しい雄の匂いが車内に充満してる
こっちだってムラムラしてるのにこれじゃ運転に集中なんてできないじゃない


あっ二乃！
ここ曲がったら
すぐだよ
…四葉はよく平気そうに
してるわね
こっちはもう限界なのに
ぎゅんぎゅん
んっ
ふぅひゃろーくん
ほらあとちょっとで到着
もう少しの辛抱だよ♥
フータロー辛そう
我慢できなかったら
射精してもいいんだよ


ダーメ♥まだまだ我慢
暴発なんて格好悪いぞ
白いおしっこお漏らしするの
気持ちいいよね
射精しちゃえ♥
フータロー君の濃いオチンポミルク
いきなり射精したら五月ちゃん
びっくりしちゃうでしょ
イくな♥
イくな♥
イけ♥
フータロー専用の便女に
排泄するだけだもん
許可なんていらないよ
イって♥



イくな♥

イけ♥

ぶしゅしゅしゅ

ぐぐん♥

イ…け♥

ビグッ♥

あ〜♥

いっぱい射精ましたね♥


よし着いた～
久しぶりだなあ
お祖父ちゃんの旅館
四葉とフータロー君は
何度か来てるんだっけ


旅館の買い手が見つかればいいんだけど
なかなかこんな田舎じゃいなくてね
それまで掃除や破損のチェック
に定期的に来てるんだよ
温泉


そういえば上杉君と二乃は
どこにいったんですか


んっ…あはっ♥
いいわよ…ソコっ…
屋内入るまで我慢できなかったのか
こんなところ誰もこないわよ
ぢゅっ
ずっ



ココ…すごい
グチョグチョだぞ

ぐに

ぐに

あんだけ見せつけられて
こっちはもう限界よ

いいからはやく私を
満足させなさ…

ビクッ

イっ

はいはい
じゃあ運転のご褒美に
腰砕けになるまで
イかせてやるよ

ずずっ
ずびィル
ぷっ

ずぐ


んんっ♥
はっ♥ああ♥さてるぅ♥
ちゅ♥
ちゅ♥
ちょっとぉここで全部脱がすの？
スッ
ここなら誰も来やしないんだろ
それに俺とお前は裸の仲じゃないか
ん…それもそうね…
ふぅ


さ…さすがに変な気分ね…
とても現代人とは思えない格好
ぴー♡
もし誰かにオマンコ丸出しの姿見られたらと思うとスリルですごい変な気持ちになってきちゃうの
ぐぼっ
ぐぼ
プシャ


んっ
あぁっ♥
駄目…いけないのに
指が…とまらぁない
フー君もぉ…
自分のオチンポ
しごいてぇ
オナニーするところ
私に見せつけてぇ
こ…こうでいいか？
私たち姉妹を幾度も貫いた
凶器のような逞しい肉槍
火が出るくらい扱く姿はまるで
目の前の女を自分のモノにするために
刃を研いでいるかのよう


フー君♥イっちゃうっ
イっちゃうからぁ
誰かに見られちゃうかも
しれないのにぃ
全裸オナニーで絶頂
しちゃうっ


俺もだっ二乃っ！
もうすぐ射精ちまうっ
いいわよっきて♥


野外で全裸になり
狂ったように性器を
しごいていく変態行為
人間の習慣の知性も
かなぐり捨てて快楽のみを
求めたこの様が
非日常の興奮を味わわせる



私が指チンポで雌イキ絶頂するとこオカズにしながら

ハッ

ハァ

お手手マンコで搾りだしたザーメン人間失格の露出変態便器にぶっかけてぇ♥

グチュ

ジュ

ひぐっ

ジュ

ビュ


ひぎぃ♥
ビク
ビク
ブぅっ♥


びゅっ
あっ♥
顔背けるなっ
こっち向け
んんっんんーーー
ん…はぁい
ビビッ
ビチ
はァ…すごい
ベトベト

その後本来の目的である旅館の手入れにとりかかるも





五つ子達は事あるごとに誘惑をしてきた



ただ1人を除いて




ねえ…あんた四葉とはうまくやれてるの？
なんだよ急に
今日皆を集めたのはあの子なのよ
全員感覚が麻痺してるのかもしれないけど普通は自分の旦那が他の女とエッチしてたら嫌なものよ
う……
だけどあの子はむしろ積極的に私たちとフー君を引き合わせようとしてるでしょ
いいよ、せっかくだからそのまま五月ともヤっちゃいなよ



私はむしろ役得だし
今の関係には
満足してるわよ

アンタたちのおかげで
本物のエッチも知れたし

サボってる〜

動作チェックだ

でももし自分が四葉の立場なら
たとえ姉妹でも浮気なんか許さない

それはたぶん一花や
三玖、五月も一緒だと思う

ズブブッ

フー君が四葉のことを
それでも愛してるのは
以前も聞いたけど

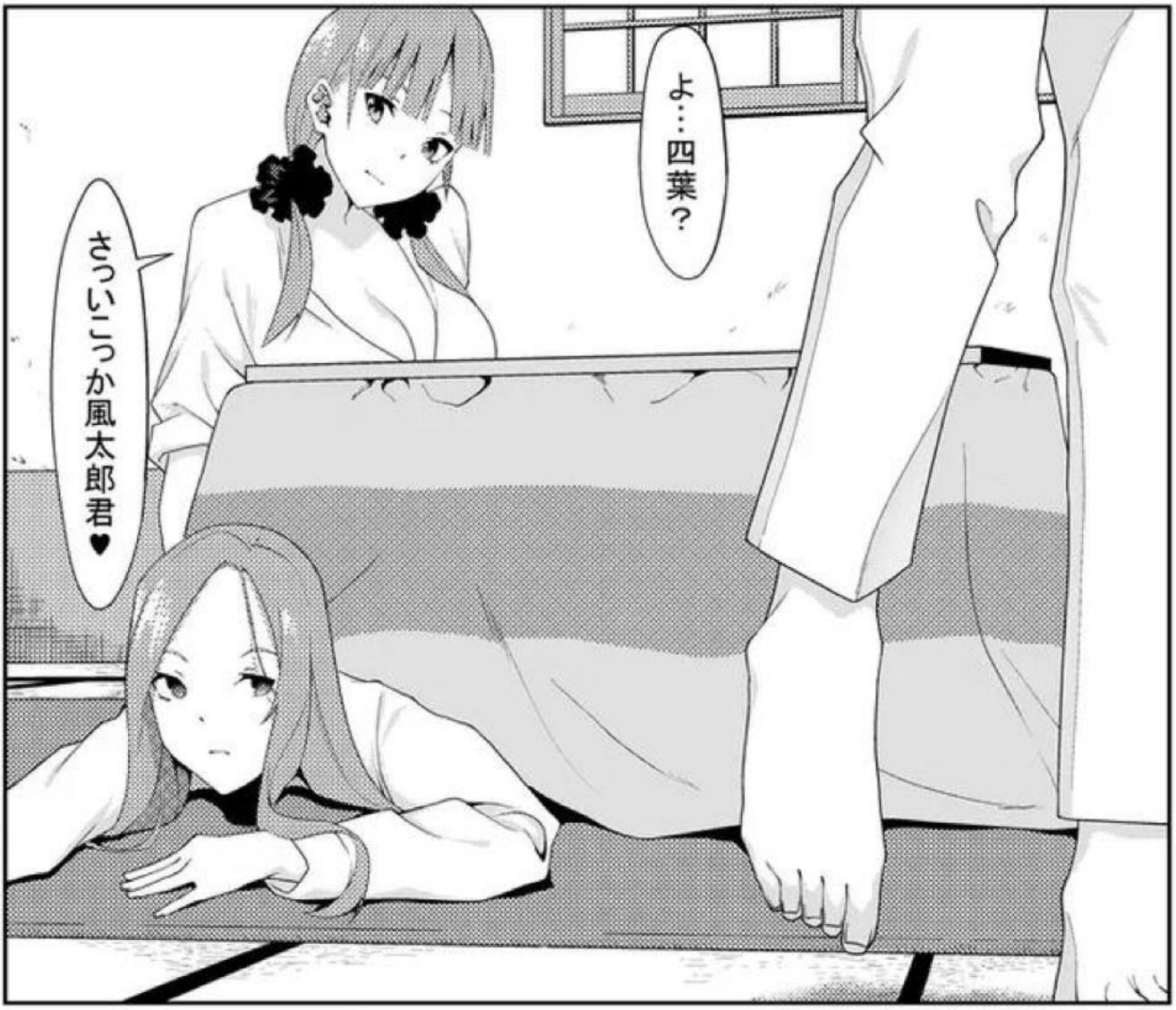
四葉は車の中でフー君が
皆といちゃついてるのを見ても
全然気にも留めなかったの

ブビッ


別にあの子が浮気してるとかそういうことを言うわけじゃないけど
ハイ
ハイ
なにか結婚当初とは心境の変化があるんじゃないの
ハイ
ンッ…じゅ
フー君温泉たまったから入っていいわよ
そうか…ならいただくか


それじゃあお背中流してあげますよ♥
一緒に湯船に浸かって「スッキリ」しようよ
はいストップ 今日のお風呂は夫婦水入らずにさせてもらうから
おっと
皆さんは混浴か女湯にしてね
えーっ
そんなズルいですぅ


ずるいってなぁに
妾の分際で大奥に意見があるのかな？
ゴゴゴゴ
なんか怖い怖い
いつになく本気だ…


よ…四葉？
さっいこっか風太郎君♥





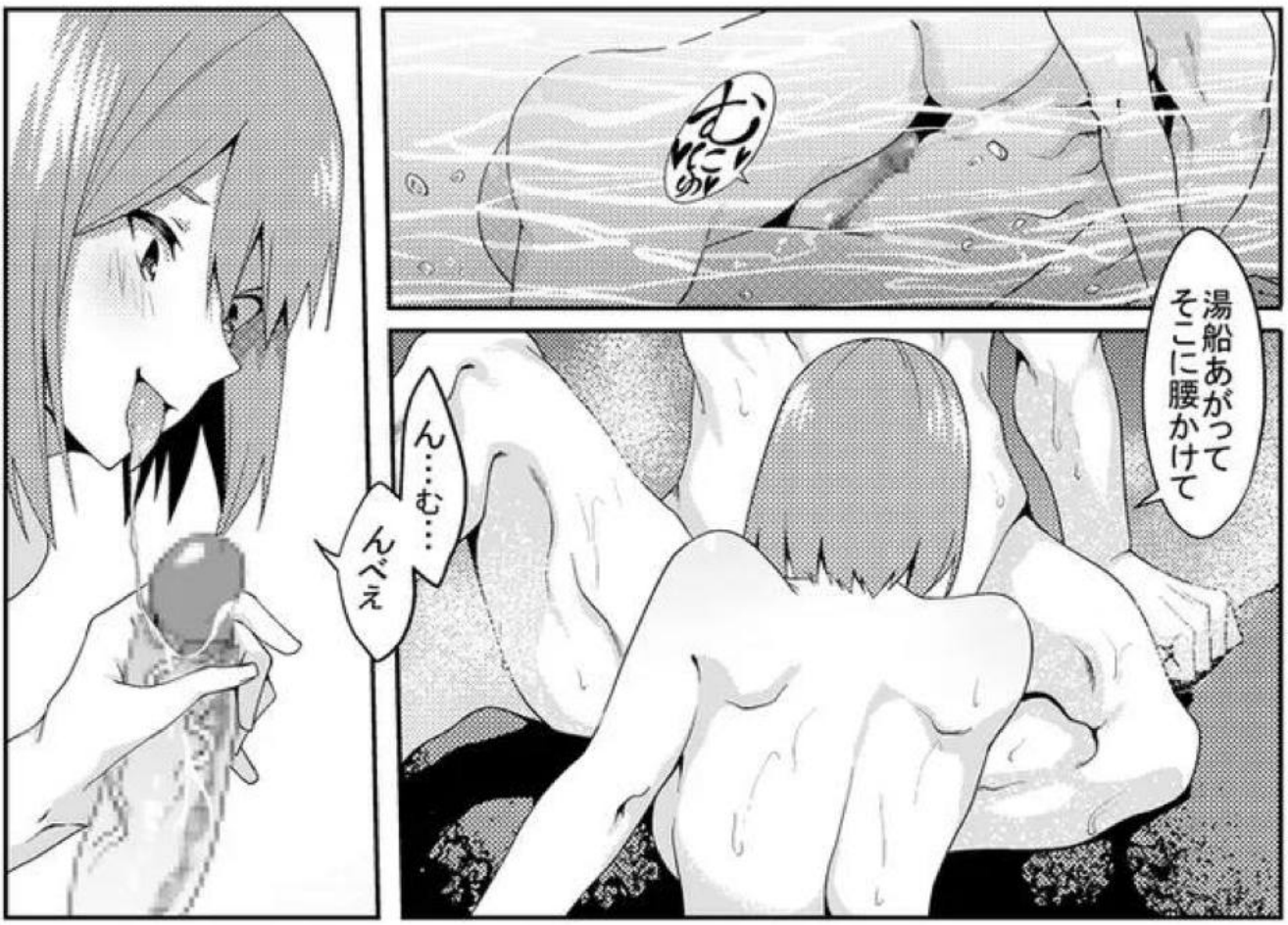

いやぁいい湯だねぇ
……そうだな


やっぱり貸し切りだから広々とつかえるのがいいよね
いやこんなに密着してたら広々もなにもないだろ


えー姉妹たちとは日中あんなにもイチャイチャしてたのに私とくっつくのは駄目なの？
駄目とは言ってないだろむしろ…心地いい


素直なのは良いことですな
四葉ポイントをさしあげます
ちゅ
ちゅ
んぅ～ちゅ♥んちゅ♥
ちゅふ♥んべぇ
ズズ…


今日は何発だしたの？
よ…よんはっ
相変わらずの絶倫だね
でもまだまだやる気みたい


湯船あがって
そこに腰かけて
ん…む…
んべぇ


どうせ風太郎君のことだから
平等に一人一発
だったんじゃないの
じゃあ四人のなかで誰が
一番気持ちよかった？
そんな…言えるわけ
こうやって遠回しに
嫌味のようなことを
言うときは大抵…


なあ…もしかして機嫌悪いのか
！…ふふ風太郎君も女の子の感情の機微が分かるようになってきたね
おまえら五つ子くらいだけどな
それはそれでどうなの
…でも確かに怒ってますまるで私が風太郎君のことを飽きたみたいな言われ方をしてそれを即座に否定しないのは
それって二乃の…まさかあのとき見てたのか
もしかしたら二乃は気づいてたのかもしれないけどね
あいつは…んっ
ビク
ビクッ


ねぇ風太郎君
一花の結婚式の日のこと覚えてる？
一花すっごく幸せそうだったよね
過去の恋愛も吹っ切れて晴れやかな表情で
芸能関係の招待客もたくさん来て週刊誌の記者なんかもいて私たちに負けず劣らず豪華な式だったね


でもその日の夜は特別激しい獣のようなセックスだったんだよ
まるで正体の分からないストレスをぶつけてくるかのように


はぁ…あ…
悪い…今日はなんかすげえ射精たなぁ
気づいてないんだ…


二乃の結婚式の日も
三玖や五月の日も
その日の夜は総じて
私が壊れても
そのまま抱き潰す
本気交尾キメて…
なんでかなんてもう
理由は明白だよね
びくん


くそっ俺がもし一花を選んでたら
そこに立ってるのは俺だったのに
人気俳優だかなんだか知らないが
こんなポッと出のよく分からない
男に持ってかれるなんて
はっ♥
はっ♥
あれだけ俺のこと
好きだったのに
結局は顔がいい男がいいのか
はぁ
俺のデカチンぶちこめば
簡単にアへって服従する
雑魚雌の姉の分際で
人間の女みたいに
舞い上がりやがって雌豚が
そこまでは思ってねぇよ


なお
何より私は今が幸せだったからむしろ夜のスパイスとして楽しんでたくらいだよ
まあそんな心の底の浮気心なんかに嫉妬するつもりはないし
こいつはこいつで逞しいな
ビク
ビク
でも幸せだったのは私だけだったみたい
私と風太郎君は結婚してからこんなにも毎日充実してるけど
結婚して間もないのに皆から聞こえてくるのは旦那や仕事の不満ばかり


一夫一妻の時代のせいで風太郎君が手に入れられなかったものをおこぼれを拾っただけなのに
それすらぞんざいに扱って私の大切な姉妹を傷つけるのが許せなかったの


だから私は思ったの
このまま不満を抱えたまま
今の旦那の妻として結婚生活を
続けるよりも…
風太郎君の雌として
飼われた方が何倍も幸せだって
そんな…こと…
今日一日で分かったでしょ


浮気を承知でのこのこと
ついてきたどころか
互いの家庭なんて省みずに
誘惑し淫らな行為を求めてくる
皆にとって旦那と風太郎君
どちらが偉大で大切かなんて…
この旅行はね…私の姉妹が
風太郎君に完璧に忠誠を誓って
旦那から引き剥がすための
最後の締めの予定なの
おまえは…それで
いいのかっ…


私は昔から変わりませんよ
ただ風太郎君がどれだけすごい人かを皆に知ってもらいたいだけです


んっ♥
人妻をも屈服させ堕とし奪うことができる優秀で屈強な雄だって
結婚で結ばれた絆だって初恋の思い出には勝てないってことを


ハァ
ハァ
ハァ
…とはいっても
嫉妬の気持ちが全く
ないわけじゃないんだよ
姉妹に限り浮気は許すけど
その前にまず本命奥様の
ご機嫌とりをお願い
あ・な・た♥
パチャ
パチャ


あっ♥
んっ♥
ツプっ
はあぁ♥
風太郎君のおきてるぅ♥
ズブ…
ズブブ
ズブズブっ


あん
凄い乱暴な腰振り♥
本気ピストン伝わってくるぅ
ビクッ
ビクッ


四葉っお前は最高の妻だっ！
お前の手助けがなけりゃあいつらのカラダも味わえなかった
ビッ♡


お前と結婚できて本当に良かった‼
こんなに俺のことをおもってくれる奴なんて他にいない
をゅん
をゅん





ふふふ…じゃあ今から言うこと復唱して

四葉は本命妻

四葉はっ…本命妻

あ…

姉妹もまとめて俺のもの

しまいもまとめて…おれの…もの…

みーんなデカチンポに屈服した淫乱雌奴隷

皆デカ…チンに屈服したいん…ら…雌奴隷

パン

バチュ

ドチュ

ドチュ

バチュ

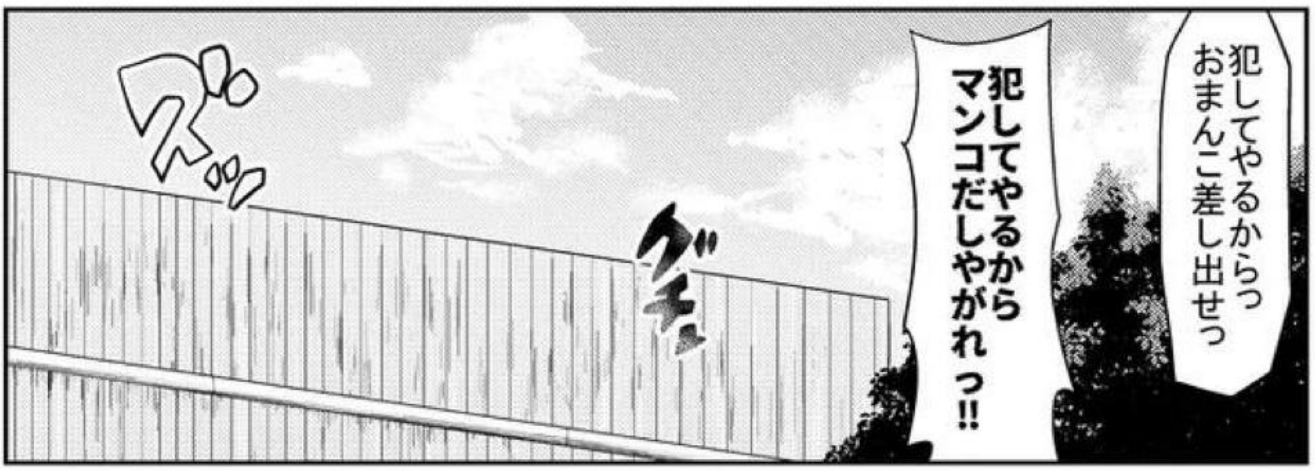
パン

オっ♥

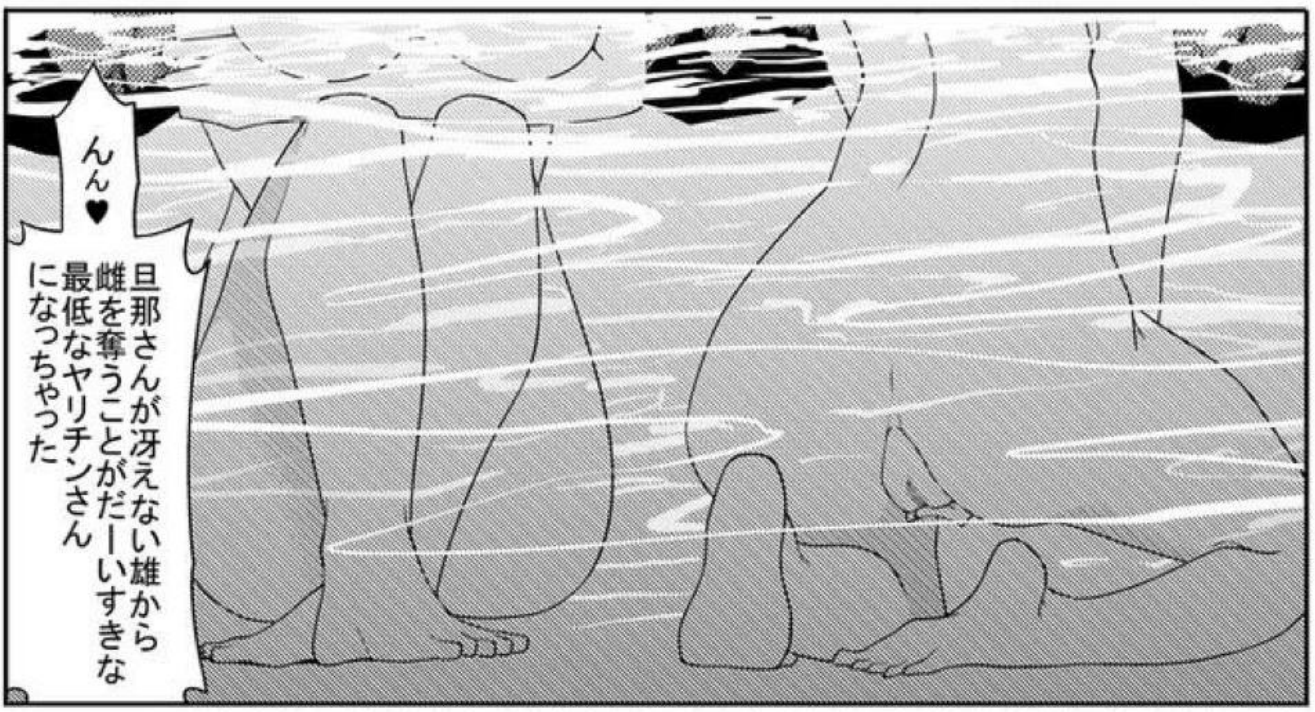
あっ♥

パン


声が小さいよ
全部事実なんだから
自信もって
いっそ皆に聞こえるように
王様宣言しちゃいなよ
俺の命令は
絶対服従
俺の命令は絶対服従っ
旦那なんて知~らない
女はみんな強い雄の所有物
旦那なんて知らないっ
女はみんな俺の所有物！


犯してやるからっ
おまんこ差し出せっ
犯してやるから
マンコだしやがれっ!!
グッ
ズン


全員俺の優秀遺伝子で
孕ませてやる
全員俺の優秀遺伝子で
孕ませてやる!!
ずぼっ
ズッチョ
ずっ♥


んん♥
旦那さんが冴えない雄から
雌を奪うことがだーいすきな
最低なヤリチンさん
になっちゃった


ぢゅぶべっ
んっ
あっ
クチュ
クチュ
ドッ
ドッ
いいよぉ
手始めに自分の妻のマンコに特濃ザーメン流し込んでぇ
こっそり聞き耳たててる雌たちに自分等の末路教えてあげてぇ



射精すぞっ

おまえらまとめて一生涯
チンコに奉仕するのが生きがいの
発情浮気奴隷妻にしてやる

俺のチンコでしかイケないように
気ぃ失うまで犯すからなっ

ズチュ

ヌチュ

ヌプッ

奥っ…♥

ソコっ♥♥

ン……♥

シャアアアアア

素敵♥
一花、二乃、三玖
五月聞いた？


皆の人妻としての…うぅん
人間としての人生はおしまい
全部私の旦那に奪われて
犯されてっ堕とされちゃうょっ
っク…いくっ
でるっ……！

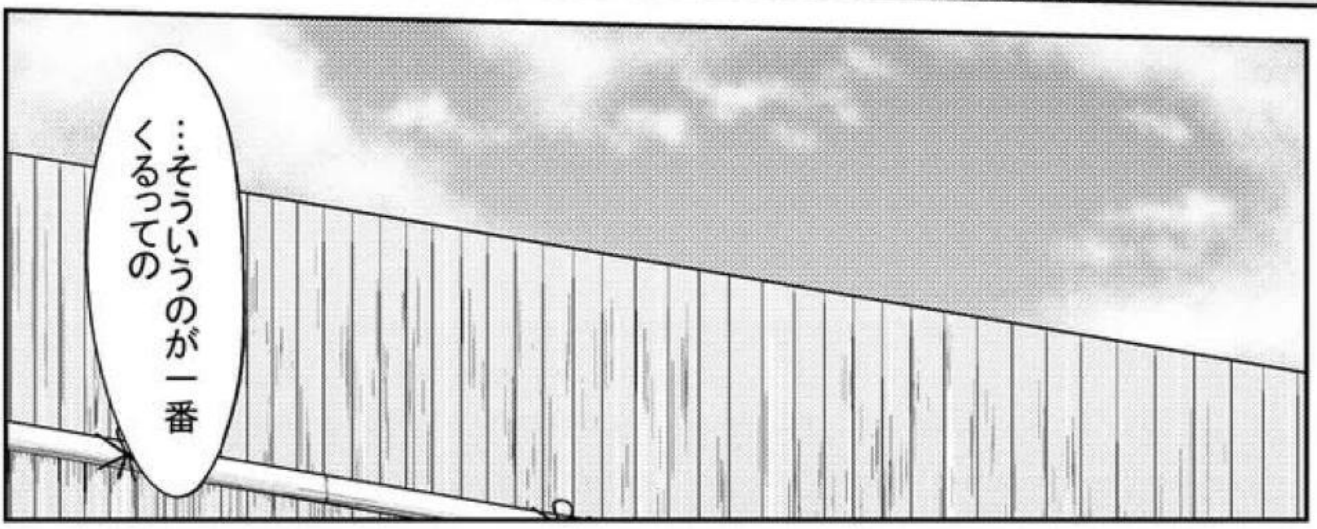



夕食の後は大乱交会♥
有言実行
これが終われば風太郎君は
五つ子の世界の絶対王政
五人同時に相手するのは
大変だろうけど
こっちも色々お楽しみを
用意してるから頑張って


これは今夜は
寝れなそうだな


それと…


愛してるよ風太郎
姉妹の皆より…
いや世界の誰よりも


…そういうのが一番
くるっての